

# 史跡加曾利貝塚総括報告書 第1分冊 正誤表

No. 1

正誤箇所	誤	正
例言2 上から3行目	て行なった。	て行った。
例言3	第1章第3節・4節	序章第2節1
例言4 上から4行目	千葉市加曾利貝塚博物館	千葉市立加曾利貝塚博物館
例言5 上から6行目	序章第2節2	序章第2節3
例言7	千葉市加曾利貝塚博物館	千葉市立加曾利貝塚博物館
例言8 上から1行目	出典・参考文献	引用・参考文献
例言9 下から9行目	御芳名を巻末資料8に	御芳名を巻末資料7に
例言9 下から4行目	菊池 実	菊池健一
凡例2 上から2行目	「序章 第2節2」	「序章 第2節3」
凡例9 1行目	スクリントーン	スクリーントーン
本文目次 第2分冊	第4章 第4節 11 玉	第4章 第4節 11 玉類
本文目次 第3分冊	第8章 総括	第8章 総括(飛田)
英訳分 下から8行目	It was difficult to	It was difficult in Japan to
英訳分 下から8行目	the 1960's and 1970's because	the 1960's and 1970's because
1頁 上から5行目	規模を誇る。	規模である。
1頁 上から6行目	東京大学人類学教室	東京帝国大学人類学教室
1頁 上から7行目	東京大学人類学教室	東京帝国大学人類学教室
2頁 上から15行目	社会教育課長 遠藤建郎	社会教育課長 遠藤健郎
2頁 下から13行目	団長補佐 西村正衛・金子浩昌・大塚初重	団長補佐 西村正衛・金子浩昌
2頁 下から12・13行目	副団長補佐 江坂輝也	副団長補佐 大塚初重・江坂輝弥
2頁 下から10行目	地理学調査主任 関野克	建築学調査主任 関野克
5頁 上から15・16行目	木越邦彦・西村正衛	木越邦彦・清水潤三・西村正衛
7頁 上から7行目	②開いたスペースに	②空いたスペースに
7頁 上から19行目	第9次調査第1調査区・第3調査区	第10次調査第1調査区・第3調査区
7頁 下から4行目	赤彩土器	赤彩資料
8頁 上から2行目	なお、以前行われた顔料の分析結果	また、平成24(2012)年に千葉市立郷土博物館が開催した特別展「漆 ―その歴史と文化―」の開催準備に伴い行われた蛍光X線分析による分析結果
8頁 上から2行目	朱(水銀朱)	朱(赤色硫化水銀)
32頁 図中No.56	(遺跡名) 亥鼻城跡	(遺跡名) 猪鼻城跡
32頁 図中No.56	(所在地) 中央区猪鼻町	(所在地) 中央区亥鼻
33頁 下から2行目	後期中葉期	後期中葉
39頁 下から16行目	大正11(1922)年加曾利貝塚で	大正11(1922)年以降も加曾利貝塚で
40頁 下から8行目	昭和11(1922)年の	昭和11(1936)年の
41頁 下から3行目	静岡県浜松市蜷塚貝塚	静岡県浜松市蜷塚遺跡
62頁 上から11行目	貼床が載っていた	貼床が乗っていた
62頁 下から3行目	隅丸方形	隅円方形
63頁 上から19行目	堀之内1期	堀之内1式期
73頁 3-9図	13	13 所在不明『報告I』より転載
93頁 上から8行目	堤状貝塚	堤状貝層
93頁 上から14行目	40cmほど間を開けて	40cmほど間を空けて
114頁 上から19行目	2本	2基
131頁 上から9行目	165号人骨(幼児骨)を形成	165号人骨(幼児骨)を出土
131頁 下から18行目	土器台破片や小片	土器大破片や小片
151頁 上から21行目	174号人骨(成人男性)	174号人骨(成人男性)
152頁 下から3行目	加曾利EⅡ式と堀之内I式	加曾利EⅡ式と堀之内1式
171頁 下から19行目	様挿図	様相図
195頁 下から1行目	堀之内I式	堀之内1式
233頁 上から19行目	2区の貝層の概要	2区貝層形成の概要
334頁 3-217図	7	7(赤彩)
352頁 上から11行目	竪穴竪穴住居跡	竪穴住居跡
360頁 上から2行目	現存しない双口異形土器	昭和51年に発生した盗難で回収できなかった双口異形土器
366頁 下から8行目	竪穴竪穴住居跡	竪穴住居跡
366頁 下から1行目	隅丸方形	隅円方形

# 史跡加曾利貝塚総括報告書 第1分冊 正誤表

No. 2

正誤箇所	誤	正
387頁 132号土坑 6層	ロームブロック粒	ローム粒
387頁 132号土坑 7層	ロームブロック粒	ローム粒
415頁 上から18行目	(財)が確認調査	(財)千葉県文化財センターが確認調査
417頁 3-280図 5	5=95号住出土 『紀要6』より転載	5=95号住出土 『紀要6』より転載 昭和51年発生の盗難で未回収
418頁 称名寺・堀之内1式	Dトレンチ土器番号は3-20～23図に	Dトレンチ土器番号は3-20～23図に対応
418頁 堀之内2式以降	Dトレンチ土器番号は3-20～23図に	Dトレンチ土器番号は3-20～23図に対応
424頁 3-7表 下段 下端右	未報告い弧6	未報告遺構6